



駅と車両基地が計画されている周辺

夢の実現へ リニア中央新幹線 ⑤9

リニア中央新幹線

新たなステージへ

2027年(平成39年)の品川～名古屋間の開業を目指しJR東海が建設に向けた手続きを進めてきたリニア中央新幹線。10月17日には国土交通大臣から工事実施計画の認可を受け、これまでの計画から建設段階へと、開業に向けて大きな一歩を踏み出しました。

問リニア対策課 (管内線 214)

いよいよ建設段階へ

今回の工事実施計画の認可により、路線、工事計画が決定し、市内に岐阜県駅(仮称)と中部総合車両基地(仮称)が設置されることが決まりました。2027年(平成39年)の開業に向け、いよいよ建設段階に入ります。

建設段階といっても今すぐ工事が始まるわけではなく、11月7日の事業説明会で示されたスケジュール(下表)のように測量や用地取得、工事説明会を経て工事が開始されます。

しかし、市民の皆さんからは、リニア事業に対するさまざまな不安や心配の声が寄せられています。これらの不安や心配を取り除き、十分に理解を得ながら事業を進めるよう、市は事業主体であるJR東海にこれまでと同様、要望を続けていきます。

リニアを活かしたまちづくり

本市にリニア駅が設置されることにより、中津川から東京、名古屋、大阪圏や国際空港などへの移動時間が大幅に短縮され、利便性の向上と行動範囲の拡大が期待されます。そのほかにも、市の知名度アップ

用地取得などのスケジュール

地区ごとに異なりますが、概ね以下のように予定しています

H29年度以降	H28年度				H27年度				H26年度		
	冬	秋	夏	春	冬	秋	夏	春	冬	秋	
											事業説明会
											中心線測量
											現地調査
											設計協議
											境界確認説明・測量
											用地説明
											用地測量
											用地取得等

■ 地上区間
■ 非常口、変電施設
■ 車両基地

や、新たな産業などの立地、観光客の増加、移住・定住の促進、建設工事による地元への大きな経済効果などが期待されます。

また、本市には世界で唯一となる、他ではできない大規模な整備ができる車両基地が設置されることから、雇用の増加や関連産業の立地、観光の面での活用が期待できます。

市では、13年後に迫った開業に向け、これらの波及効果を受受できるよう市民の皆さんとともにリニアを活かしたまちづくりを進めていきます。

リニア中央新幹線
認可後の流れ

平成26年10月
工事実施計画認可

事業説明会
(市町単位)

中津川市では県内初となる説明会が11月7日に東美濃ふれあいセンターで開催され、約420人が参加しました。

事業説明会
(自治会単位)

現在、市内の沿線自治会単位で開催されています。

中心線測量
現地調査

地盤の高さや土地の形状を調査し、ルートを中心点に杭・びようが設置されます。※関係する方に事前にお知らせした上で進められます。

設計協議

道路や水路の付替えなどについて協議を行い、必要となる用地幅が決められます。

用地説明

関係する方を対象に用地取得の考え方が説明されます。

用地測量

事業に必要な用地の範囲を明らかにするため測量が実施されます。

用地取得

公共事業と同様に国の補償基準などに基つき、適正な補償が実施されます。

工事説明会

工事の具体的な施工方法や施工手順、安全対策、環境保全対策、工事用車両の種類、通行ルート、台数などが説明されます。

工事開始

工事完了

2027年(平成39年)
品川ー名古屋間開業